

運営推進会議開催報告書

開催日 令和8年 1月23日 13:30~14:30

出席者		議題
利用者	0名	1. 実績報告 2. 虐待防止委員会 3. 身体拘束について
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	1名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	0名	
事業所	3名	

ご意見等のまとめ

1. 実績報告

グループホームらく令和7年12月、令和8年1月の主な出来事について報告させていただく。

2. 虐待防止委員会

グループホームらくでは虐待行為はない事を報告させていただき、事例検討をおこないました。

介助等の際にスタッフの髪の毛をつかんで離さない利用者様の手を引き離す際に、手に内出血を起こしてしまった。

- 服用している薬によっては内出血を起こしやすくなるので、スタッフで共有する。
- 声かけを行いながら、ゆっくり手を引き離していくようにする。相手に恐怖心を与えていた場合は心理的虐待になりうるので気を付ける。

このような事を防ぐために

- ご家族に十分説明し、理解を得ておく。
- あらかじめつかみやすそうな物をつかんでおいてもらう。
- 髪の毛をつかめないようにになにかしらを頭にかぶっておく。

等のご意見をいただきました。

今後上記のような利用者様がご利用なさる場合は、事前にご家族様に説明を行い、このような状況にならないように、ご意見をいただいた対策からその方に合ったをしていきます。

利用者様が大事にしていた古い人形を、本人の承諾を得たのちに処分してしまった。その後人形が無いためか、不穏な行動が増えてしまった。

- 虐待ではないが、介護として適切ではなかった。
- スタッフ全員で話し合い、起こりうる問題と対策を話し合ったうえで処分していたら結果は違っていたと思う。

等のご意見をいただきました。

今後同じようなことがあれば、スタッフで話し合った後に対応を決めたいと思います。

3. 身体拘束適正化委員会

グループホームらくでは現在身体拘束を行っていない事をご報告させていただき、就寝時の不潔な行動について身体拘束の是非についてご意見をいただきました。

- 便を食べてしまう等生命維持に危険があれば身体拘束について考える必要がある。

対策について

- 目の届きやすい居室に移動し、巡視を頻繁に行う。
- 簡単にパンツの中に手を入れることができないような下着や腹巻などの使用を検討する。

等のご意見をいただきました。

今後はまず下着の工夫や腹巻を使用する等対策をし、それでも無理であれば居室を移動し巡視を頻繁に行っていきます。